

交 流 ラ イ ブ ラ リ ー 新 着 図 書

No.	書籍名	著者名	出版社名
1	「フキハラ」の正体 なぜ、あの人の不機嫌に 振り回されるのか？	満倉靖恵	ディスカヴァー・トゥ エンティワン
	[内容紹介] 職場で・家庭で・学校で…あなたは大丈夫？不機嫌な態度をとることで、相手に不快な思いをさせたり、過剰に気を遣わせたり、精神的な苦痛をあたえる「フキハラ（＝不機嫌ハラメント）」。最新の脳波研究でわかったメカニズムと対策大公開！		
2	「夫がこわい」を卒業したいあなたの モラハラ離婚のトリセツ	弁護士法人グレイス 家事部	ぎょうせい
	[内容紹介] 他人の目が入りにくい家庭で横行する“モラハラ”。しかし、離婚となると、なかなか踏み切れないもの。「これはモラハラ？」や「離婚すべき？」という疑問や迷いに寄り添いながら、モラ夫による支配から脱出するステップ、モラハラ離婚の注意点まで、踏み込んで教えます！実際にあったモラハラ裁判例のマンガも掲載！		
3	育休夫婦の 幸せシフト制育児	芳田みかん	オーバーラップ
	[内容紹介] 毎日8時間眠れて、自由な時間もあり、夫婦の絆も深まる…。そんな夢物語のような育児があるはずない？いいえ、ここにあるんです！W育休を取った夫婦が「シフト制育児」を編み出し、実践した試行錯誤の日々をコミックエッセイ化しました！		
4	自分を生きるための〈性〉のこと 性と生殖に関する健康と権利 (SRHR) 編	今井伸 高橋幸子	少年写真新聞社
	[内容紹介] 《全国学校図書館協議会選定図書》 〈性〉について知ることは、自分を生きるためにも大切なこと！ 自分の人生を自分で選び、行動するために大切な〈性〉についての知識を学べる本。 著者の高橋幸子さんは、市内の中学校でも性教育の講演を行っています。		

No.	書籍名	著者名	出版社名
5	早く絶版になってほしい #駄言辞典	日経 xwoman / 編	日経BP
	[内容紹介] 「女性なのに仕事ができるね」「男なのに育休取るの？」…聞いた、言われた、言ってしまった。駄言には無意識の思いこみ、特に、性別のステレオタイプによるものが多くみられます。これは、そんな滅びるべき駄言を集めた辞典です。		
6	災害と性暴力 性被害をなかったことにしない、 させないために。	小川たまか・長江美 代子・中野宏美・原 田奈穂子・草柳和之	日本看護協会出版会
	[内容紹介] 過去の大震災時に起こった性暴力は、「それくらい」と軽くみられたり、「そんなことがあったはずはない」と否定されてきました。本書ではその実態を示すとともに、災害と性暴力の問題を多面的に捉えました。近い将来起こると言われている大型自然災害時にまた同じことを繰り返さないために、我々は何をすべきか・・・		
7	トランスジェンダー入門	周司あきら 高井ゆと里	集英社
	[内容紹介] これまで「LGBT」と一括りにされることが多かった「T＝トランスジェンダー」について、さまざまなデータを用いて現状を明らかにすると共に、医療や法律をはじめその全体像をつかむことのできる、本邦初の入門書。		
8	世界を変えた 50人の女性科学者たち	レイチェル・イグノ トフスキー / 著 野中モモ / 訳	創元社
	[内容紹介] 「有名な科学者といえば？」数ある人物のなかで、女性の名前が挙がるのは「キュリー夫人」くらいではないでしょうか。しかし、当たり前のように知っている科学的理論や発見、発明の裏では、実は多くの女性科学者が活躍していたのです。		